

英語ニュースに見られる比喩表現とそのコミュニケーション効果に関する考察 —ABC News 事例分析を中心に—

内野 泰子
(早稲田大学)

1. はじめに—本研究の背景と目的

ニュース・ライティングの分野では、受け手にとって未経験の事象や複雑で分かりにくい事物を報じる際、受け手の日常的経験から生まれたイメージと結び付く表現を用いると、受け手の理解を高めたり興味を喚起するのに効果的であるとしばしば指摘されている。例えば、*AP Broadcast News Handbook* (Kalbfeld, 20011, p.68) では、Associated Press の放送ニュース・ライティング・スタイルの基本を“Basic to AP's style is the use of images drawn from everyday experience. The idea is this: Everyone carries around a store of memories of things they've seen and felt. The most effective storytelling is that which ties those images to illustrate the essence of the event.”と説明している。また、Robert Gunning (Itule, Anderson, 2000, p.105) もニュース記事の“Clear Writing”の基本ルールの1つとして“Tie in with your reader's experiences.”をあげ、「火山からの溶岩噴出」という受け手の多くにとって未経験の現場状況を「セメント・ミキサー」という日常的事物になぞらえて報じた下記の Arizona Republic の記事をその好例として紹介している。

“Viewed from several thousand feet in the air it looked as if an immense cement mixer had spilled its load in the heart of the valley's rich, green field.”

しかしながら、こうした指摘に関しては上記のような例を示すにとどまっており、具体的にどのように受け手の日常的経験を基盤にしたイメージと結びつけたらよいのかについての系統立った説明は十分になされていない。

一方、認知言語学の分野では、1980年代から Lakoff、Johnson 等を中心に人間の思考や理解といった認知プロセスと比喩、特にメタファー (metaphor 「暗喩」) との関係について研究が進められてきた。その結果、人間の認知プロセスでは未知あるいは抽象的な領域 (target domain= 「目標領域」) の事物・事象を既知あるいは具体的な領域 (source domain= 「起点領域」) の事物・事象になぞらえて思考したり理解する「概念メタファー」 (conceptual metaphor) が機能しており、その根源は人間の「身体的基盤」や「経験的基盤」にあると主張されるに至った。Lakoff and Johnson(1980) は様々な概念メタファーを例示している。例えば、“IDEAS” という抽象的な目標領域について考えたり理解したりしようとする際、これまでの身体的・社会的・文化的体験を通じてよく知っている下記のような様々な具体的事物・事象 (起点領域) になぞらえた概念メタファーが機能し、そこから括弧内に記したような多様な「メタファー表現」 (metaphorical expressions) が産出されるとしている。下記の例では、二重下線部分が目標領域、一重下線部分が起点領域、波線下線部分が概念メタファーから産出されたメタファー表現であるが、そうしたメタファー表現にはすでに慣用化しているもの

もあれば、目新しく創造的なものもある。

IDEAS ARE FOOD (e.g. What he said left a bad taste in my mouth.) / IDEAS ARE PEOPLE (e.g. His ideas will live on forever.) / IDEAS ARE PLANTS (e.g. That's a budding theory.) / IDEAS ARE PRODUCTS (e.g. His intellectual productivity has decreased in recent years.) / IDEAS ARE COMMODITIES (e.g. It's important how you package your idea.) / IDEAS ARE RESOURCES (e.g. Don't waste your thoughtson small projects.) / IDEAS ARE MONEY (e.g. He's rich in ideas.) / IDEAS ARE CUTTING INSTRUMENTS (e.g. He's sharp.) / IDEAS ARE FASHIONS (e.g. That's an outdated idea.) (Lakoff and Johnson 1980, *ibid.*, pp.47-48)

本研究では、ニュース・ライティングで推奨されている「受け手の経験や既存イメージにつなげた表現方法」とは認知言語学でいうところの「身体的基盤・経験的基盤に根付いた概念メタファーから生まれるメタファー表現の効果的活用」と極めて近いものと考え、英語ニュース記事の中に実際に出現する比喩表現を収集し、「起点領域」・「目標領域」の観点から分析し、英語ニュースでは主にどのような「概念メタファー」が活用されているのかを検証したい。本研究ではメタファー (metaphor 「暗喩」: “He is a wolf.” のように例えであることを明示しない表現) だけではなく隣接概念であるシミリ (simile 「直喩」: like, as if などを用い例えであることを明示した表現)、メトニミー (metonymy 「換喩」: 近接性あるいは部分全体に基づく比喩表現、例えば、“Washington is negotiating with Moscow.” の Washington は米国政府、Moscow はロシア政府を示すメトニミー)、アナロジー [「ある分野の構造的知識を利用して、新しい物事を理解する方法」鍋島 (2011, p.6)] もすべて含む「比喩表現」を収集・分析の対象とする。英語ニュースにはメタファー以外のそうした比喩表現も頻出すると考えるためである。

また、従来、英語ニュース関連の比喩表現研究は個別表現の収集・分析 (例: 須沼、1982) が中心であったが、本研究では各ニュース記事の中でいくつかの比喩表現が複合的に関連し合いどのようなコミュニケーション効果をあげているのかについても検証したい。

2. 検証対象・検証方法

2.1 検証対象

英語ニュースの媒体は新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、インターネット等様々であるが、本研究ではNHK BS 1“ABC News Shower”で2010年6月から2011年9月初旬までの間に放映された約200本のニュース記事を対象とした。この番組は米国ABC (American Broadcasting Company) が放映した主に米国国内ニュースをNHKが英語学習者向けに100語程度に編集し英語・日本語字幕と解説を付し火曜～土曜日に放送しているもの。これを検証対象とした理由は、大方のニュースがアンカーによる導入・リポーターからの現地報告・専門家のコメントといった放送ニュースの典型的な流れで構成されていることと、トピック分野のバランスが比較的よいことである。今回の検証記事の分野別内訳も、政治・軍事・外交関連約30パーセント、経済・ビジネス関連約25パーセント、社会関連約20パーセント、その他 (健康、環境、宇宙、科学関連等) 約25パーセントであった。

2.2 検証方法

2.2.1 起点領域別比喩表現収集とそれらの目標領域別分類

Lakoff and Johnson (ibid.) は、JOURNEYS, MADNESS, HEALTH など様々な事物・事象を概念メタファーの起点領域としてあげている。また、Kövecses(2010, pp.19-23) は、概念メタファーの“Common Source Domains”として HUMAN BODY, ANIMALS, PLANTS, BUILDINGS and CONSTRUCTION, MACHINES and TOOLS, GAMES and SPORTS, MONEY and ECONOMIC TRANSACTIONS, COOKING and FOOD, HEAT and COLD, LIGHT and DARKNESS, FORCES, MOVEMENT and DIRECTION をあげている。本研究では、これらを統合・補完して、下記の事物・事象を主たる起点領域と想定し、そこから産出されたと考えられるメタファー表現を検証対象ニュース約 200 本の中から収集し、さらにそれらを目標領域別に分類した。また、検証対象からメトニミー、シミリ、アナロジーも収集した。なお、メタファー研究でしばしば対象とされる「方向性のメタファー」や「容器のメタファー」、「導管のメタファー」は in, out, up, down といった前置詞や副詞を含む極めて多数の比喩表現が産出されることが予想されるため、本研究からは除外した。(注：本研究では認知言語学の慣例に従い、概念メタファーの英語表記はすべて大文字とし、そこから産出される比喩表現は通常表記とした。)

- (1) 人間、人体(の部位)、人体の基本的動作・行為、健康状態、生死等 (2) 動植物
 (3) スポーツ、ゲーム、競技、ギャンブル等 (4) 自然現象(天気、温度、自然災害等)
 (5) 身近な日常的事物・事象(食品、日用品等)
 (6) 銃 (7) 戦争・戦い (8) 旅 (9) 乗り物(自動車、航空機等)
 (10) 建造物・建築 (11) 宗教・神話・歴史等 (12) その他

2.2.2 ニュース記事における比喩表現のコミュニケーション効果についての分析

瀬戸(1995, p.149) は教育分野に関して、「初学者に高度な内容を教えようとするとき、よくメタファー(たとえ)を用いる。分かりやすいことは学習の助けになる」と述べており、英語ニュースにおける比喩表現の活用もこれと同様のコミュニケーション効果が送り手と受け手の間で実現されるものと考えられる。

また、野澤・渋谷(2006, p.255) は、これまでのメタファー研究は概念構造の記述や分類が中心で発話行為的な観点からの分析が不十分であったと指摘し、「ある種のメタファー表現を用いたコミュニケーションは、聞き手にソース(起点)概念を喚起させることによって、発語内行為(illocutionary acts)や発語媒介行為(perlocutionary acts)をより効果的に遂行しようとする戦略である」としている。その1例として“*He is a wolf.*”というメタファー表現をあげ、この比喩表現は同義に近い字義的表現“*He is dangerous.*”に比べてオオカミの捕食行為をめぐる百科事典的知識を喚起し、「より効果的に発語内行為や発語媒介行為を遂行しようという語用論的・発話行為的な動機が存在すると考えられる」(ibid. p.247)としている。

さらに、Kövecses(ibid., p.285)は“Most researchers who work on metaphor in real discourse would agree that a major function of the metaphors we find in discourse is to provide coherence to discourse.”と述べ、概念メタファーから産出された比喩表現や比喩的アナロジーが1つのテキストあるいはその一部を“predominate or rule”することでテキスト内に結束性がもたらされるというコミュニケーション効果 (intratextual coherence) を指摘している。Kövecse(ibid., p.287)は馬の障害物競争をめぐる一連の比喩表現や比喩的アナロジーをリード部分にいくつか盛り込むことで結束性を実現しながら人間の目標達成評価について分かりやすく論評した Times の記事 (2008年2月4日付け) をその好例としてあげている。

また、今日のような概念メタファー研究が進む以前、比喩表現は「言葉の綾」という特殊な修辞表現や文学的表現として捉えられることが多かったが、英語ニュースにおいてもそうした「言葉の綾」のおもしろさを使って受け手の興味を喚起するというコミュニケーション効果を実現している事例もあるのではないかと考える。

以上ならびに英語ニュースのいくつかの特徴を踏まえて、本研究では、英語ニュースにおいては下記5種類のコミュニケーション効果が比喩表現によって実現されている可能性がある想定し、各記事についてこれらを検証した。

- (1) 受け手の身体的・経験的基盤に関連づけ、理解を深めたり関心を高めたりする。
- (2) 受け手の百科事典的知識を喚起し、理解を深めたり関心を高めたりする。
- (3) 英語ニュースでは、同一の事物や事象についての表現に関しては同一表現の繰り返しを避けバラエティを持たせるべく様々な表現で言い換える傾向が顕著だが、そうした目的で「字義的表現」の言い換えとして比喩表現を用いる。
- (4) 一本の放送ニュース記事内の結束性を高める。アンカー、レポーター、専門家の発言の引用部などをつなげた記事全体の結束性 (intratextual coherence) を高める。
- (5) 言葉の綾としての面白さで受け手の興味を喚起する。

3. 検証結果

3.1 起点領域別比喩表現の目標領域別分類

今回検証対象とした約200本のABC News Shower 記事中すべてに2.2.1で想定した起点領域から産出されたと考えられる比喩表現が1つ以上見られたが、目立って出現数が多かったのは人間にとって最も馴染みが深いと考えられる(1)の人体の部位、人体の基本的動作・行為、健康状態、生死等と(5)身近な日常的事物・事象(食品、日用品等)の2領域になぞらえたものであった。また、その目標領域は政治、外交、経済、ビジネスといった複雑で受け手が理解に努力を要するであろうものが中心であった。以下、今回収集した比喩表現のうち主なもの(放映日は紙幅の都合で省略)約100例を(1)～(11)の起点領域別・目標領域別に分類して示す。[(12)の「その他」についてのさらなる分類・分析は本論文では同様に紙幅の都合で省略した。]

3.1.1 「人間、人体（の部位）、人体の基本的動作・行為、健康状態、生死等」を起点領域とする比喩表現

--- 「身体的・経験的基盤」と最も密接に関連した人間や人体にかかわるこの起点領域の比喩表現が全 76 例と最多出現。目標領域は、市場、組織、国家、乗り物、競争、ビジネス等が多かった。

(1) 目標領域は「市場」

- The President argued he knows the job is not done as evidenced by anemic job growth in May. (人体の貧血 → 米国の低調な雇用市場)
- Home prices tumbled another 5 percent. (人間の転落 → 住宅価格の急落)
- That jittery market is keeping price high. (人間のいらつき → 市場の不安感)

(2) 目標領域は「組織、国家、企業、都市等」

- It's September 18, 1963, James Webb, head of NASA, is helping Kennedy work through a whole list of misgivings. (人間の頭 → 組織のトップ)
- In this city paralyzed by 32 consecutive 100-degree days (身体 of 麻痺 → 都市機能停止)
- The US was doubtful whether this government can even survive (人間の生死 → 政府の存亡)
- Kate, now the Duchess of Cambridge, will help revitalize the royal family. (身体の生き返り → 王室の人気回復)

(3) 目標領域は「機械、装置、乗り物等」

- The Splendor is dead in the water. (人間の死 → 船の運航機能停止状態)
- I was really surprised to see the small pockmarks all the way across the fuselage (人間のあばた → 航空機にあいた小さい穴)
- Passengers on the crippled jet could see a hole in the wing. (身体障害 → 航空機の故障)
- Hybrid and electric cars, a viable alternative to their gas-guzzling counterparts. (人間がががつ食べる → 自動車がガソリンを大量消費する)
- When the kill begins, it will slowly pump heavy mud into the capped well. (殺人 → 原油採掘用油井の閉鎖)

(4) 目標領域は「競争、反発、戦争等」

- More than 100 Democrats in the House voted against the war funding bill, revealing a growing Democratic revolt against the President's policy in Afghanistan (人間の成長 → 民主党内での大統領への反発の高まり)
- Just 15 days to go before the mid-term elections and high stakes seem to create some high blood pressure (人間の高血圧 → 米中間選挙戦の激戦化)

(5) 目標領域は「景気、売上、ビジネス等」

- Airlines are gobbling up money. (食い尽くす → 航空会社が多額の金を使う)
- They are doing well. (体調良好 → 企業の売上好調)
- Their personal small business recovery is now frozen. (身体の回復 → 企業業績上向き)

3.1.2 「動植物」を起点領域とする比喩表現

--- 動植物の部位、形状、役割、鳴き声などに関連した比喩表現 8 例が見られた。

(1) 目標領域は「質問」

- It's that thorny question: what is the US willing to overlook to keep an ally?
(棘のある植物 → 厳しい質問)

(2) 目標領域は「犯罪」

- These criminal acts against Egyptian people are not changed from the root.
(植物の根 → 犯罪の根源)

(3) 目標領域は「機械・装置」

- The sounds of sleigh bells are being replaced with the chirping of cash register.
(鳥のさえずり → レジの機械音)

(4) 目標領域は「見張り、監視、監視役」

- Be sure to visit the watchdog sites. (番犬 → 監視サイト)
- This is the woman whose eagle eye helped expose bogus charges on millions of Verizon cell phone bills. (鷲の目 → 厳しい監視)

(5) 目標領域は「企業、ビジネス活動」

- Can Apple thrive without Steve Jobs? (植物の生育 → 企業の繁栄)

3.1.3 スポーツ、ゲーム、競技、ギャンブル等を起点領域とする比喩表現

--- 米国人を主たる聴視者とする ABC の国内ニュースが検証記事の中心であったため、陸上競技、バスケットボール、野球、フットボール、競馬、サーカス、ギャンブル、手品等、特に米国人に馴染みの深いものに関連したものが多く、全 26 例。政治活動や経済活動を目標領域とした事例が特に多かった。

(1) 目標領域は「経済活動」

- Here's how dominoes fall from Athens to your doorstep. (ドミノゲーム → 財政危機の波及効果)
- There's no room for second place. There is only one place in my room, and that's first place. (レースの順位 → ビジネスにおけるポジション)
- President Obama will likely push for China to offer a more level playing field for US products in China. (競技場 → ビジネス競争のための市場)
- A price increase in this economy is the kiss of death. And so, they'd rather kind of play a shell game with consumers. (ギャンブルのインチキ行為 → 値上げを避けるために商品の内容量を減らすなどの企業のごまかし行為)(波線部分は人体を起点領域とする比喩表現)

(2) 目標領域は「政治活動」

- Those proposed tax increases are nonstarters. (競馬の出走取り消し馬 → 議会で可決されそうもない政策)
- This is a real high-act for President Obama. (サーカスの技 → 外交交渉の技)
- They need some Hail Mary progress. (フットボールの試合 → 一か八かの外交交渉)

(3) 目標領域は「身体の回復」

- Gabby's recovery process would be more of a marathon than a sprint.
(陸上競技 → 銃弾による負傷からの時間のかかる回復)

(4) 目標領域は「天候」

- The wicked one-two weather punch today. (ボクシングの2連打 → 悪天候による被害)

(5) 目標領域は「犯罪、不祥事」

- We've got the trifecta. (競馬の三連勝単式 → アーリントン墓地をめぐる3件の不祥事)

3.1.4 「自然現象(天気、温度、災害等)」が起点領域の比喩表現

--- 天候、温度、地震、地滑り、波、空等に関連した18例が見られた。目標領域は市況・価格関連や政治・選挙関連の事例が目立った。

(1) 目標領域は「市場、価格等」

- We hear about those around the country directly charging sky-high prices. (空の高さ → ガソリン価格の高さ)
- The rental market is hot. (温度の高さ → 賃貸住宅市場の好況)
- It could have a huge ripple effect in grocery stores everywhere. (さざ波効果 → 価格波及効果)

(2) 目標領域は「政治活動、選挙情勢等」

- But if you look at political campaigns such as Obama versus McCain, then 53 percent is sometimes considered a landslide. (地滑り → 選挙での圧勝)
- Our new poll shows one Republican in a dead heat with President Obama as the economy catches the President in an undertow. (引き波 → オバマ大統領が選挙戦で米景気低迷に足をすくわれている状態)
- Obviously we're experiencing some headwinds. (向かい風 → 大統領選での逆風)

(3) 目標領域は「社会現象、社会問題等」

- The protests caught a second wind. (再度吹く風 → 抗議活動の再度の高まり)
- It's a huge sea change for an institution that has been dominated by men.
(海の作用で起こる変化 → 社会的な大変化。ここでは米国最高裁判事にまた女性が就任したこと)
- Most of that change has been driven by a surging Latino population.
(大波 → ラテンアメリカ系米国人の急増)

3.1.5 「身近な日常的事物・事象」が起点領域の比喩表現

--- 食品、日用品(家具、身の回り品等)などの身近な事物に政治・外交・金銭など種々の複雑な事物・事象をなぞらえた比喩表現が70例と非常に多数見られた。特に食べ物については米国人が常食するものが目立った。

(1) 目標領域は「政治・財政・外交等」

- WikiLeaks lifts the curtain on the secret communication. (カーテンを開ける → 機密を暴露する)

- This is a Satan sandwich. (体重増など恐ろしい結果が予想されながら手を出してしま
う食べ物 → 深刻な状況を先送りにすることが分かっている米国の債務上限引き上げ措置)
- We need people and we need infrastructure---good combo. (抱き合わせメニュー → イン
フラへの財政出動と雇用創出という 2 つの政策の組み合わせ)
- This has been a trip full of carrots. (人参 → 相手国を懐柔するための提案)
- For India, President Obama delivered a plum, backing the nation's bid to be given
a permanent seat on the powerful United Nations Security Council.
(プラム → インドの安保理常任理事国入り支持という外交的手土産)

(2) 目標領域は「金銭・資源等」

- Why should we spend that kind of dough to put a man on the moon?
(パンなどを作るための練り粉 → 人間を月に送る資金)
- Along the Gulf coast is the nation's oil piggy bank. (貯金箱 → 米国の原油埋蔵地)
- It's a mistake to give this administration yet another blank check. (金額の記載さ
れていない小切手 → 際限なく使える戦費)
- There's a battle between the heartstrings and the purse strings.
(財布の紐 → 予算) (「心のつながり」を意味する heartstrings との語呂合わせ)
- The same concept of taking the money out of the market and putting under your
mattress (マットレスの下に置く → 手元に金を置いておく 筆筒預金する)
- He's funneled \$17 million here. (漏斗で注ぎ込む → 地元インフラに資金をつぎ込む)

(3) 目標領域は「異常気象、自然災害等」

- More than half of the country has been hammered. (ハンマーで打たれる → 被災する)
- All of us in the baking, boiling heat across one-third of the country. (加熱料理 → 猛暑)

(4) 目標領域は「場所」

- Royals have long worked on this relationship across the pond. (池 → 大西洋)

3.1.6 「銃」起点領域の比喩表現

--- 「銃社会・米国」を反映してか 6 例見られた。

(1) 目標領域は「嵐などの天災」

- It's zeroing in on so many large cities. (銃の標的 → ハリケーンの被災地)
- Largest metro areas in America in the crosshairs today. (銃の照準を合わせるための
十字線 → ハリケーン通過予想経路)

(2) 目標領域は「政治活動」

- We're going to see if we've got some straight shooters in Congress.
(真っ直ぐ撃てる射手 → 米国の失業問題を真摯に扱う議員)

3.1.7 「戦い・戦争」が起点領域の比喩表現

--- 米国の中間選挙や大統領選挙関連の記事を中心に 9 例。

(1) 目標領域は「政治・選挙・外交等」

- Senator John McCain launched a personal rocket at the Democratic Senate

candidate in California. (狼煙をあげる → 選挙運動で個人攻撃を行う)

- Perhaps, no state has swung more dramatically away from the Democrats than Ohio. They are preparing for a bloodbath here. (大虐殺 → 極めてひどい敗北)

(2) 目標領域は「ビジネス・経済等」

- Helfer's secret weapon is using only home-grown American wood. (秘密の武器 → ビジネス成功のための秘策)

(3) 目標領域は「病気・社会問題等」

- At St. Christopher's Hospital in Philadelphia, it is ground zero for hunger. (爆心地 → 飢餓児童問題が最も深刻な場所)

3.1.8 「旅」が起点領域の比喩表現

--- 「人生は旅」を中心に 15 例。

(1) 目標領域は「人生」

- Catharine the commoner and Diana the aristocrat would arrive at their wedding day. (旅の到着点 → 結婚式当日という人生の到達点)
- A new study followed 10,000 people and has found a surprising correlation between life's major milestones and weight gain. (道標 → 結婚等の人生の大きな節目)

(2) 目標領域は「政治活動・選挙運動等」

- We will conduct this campaign on the high road. (主要道路を行く → 王道を行く)
- Tomorrow is the day American decides. There will be a new roadmap for the next two years. (道路地図 → 政策の指針)

(3) 目標領域は「戦争」

- On Tuesday evening, he will deliver a rare address to the nation from the Oval office to mark a milestone in Iraq. (道標 → イラク戦争の節目)

(4) 目標領域は「搜索」

- An urgent worldwide manhunt is under way. (道を進行中 → 搜索が進行中)

3.1.9 「乗り物」が起点領域の表現

--- 自動車、航空機等、15 例。

(1) 目標領域は「ビジネス、経済活動、価格等」

- Are some of your prescription drug prices to nosedive? (航空機の急降下 → 処方薬価格の急落)
- Some models are up nearly 30 percent. Since the beginning of the year. A lot of that has been fueled by the quests for cars that won't use much fuel. (自動車に燃料を注ぐ → 売上を刺激する) (文末の “fuel” は字義通りの意味)
- Egypt runs on cash. Few have a credit card. (自動車 → エジプト経済)

(2) 目標領域は「空港等の施設」

- Airports in the Northeast are gradually gearing up. (自動車のギアを入れる → 空港施設の準備を整える)

3.1.10 「建造物・建築」が起点領域の比喩表現

---7例。国家、財政、ビジネス等が主な目標領域。

(1) 目標領域は「国家、財政」

○ The US is about to hit a legal ceiling for our national debt. (天井 → 法定債務上限)

(2) 目標領域は「ビジネス、価格等」

○ 140 million Americans pass through Walmart's doors every day. (ドアを通る → 来店)

○ Those natural disasters have sent cotton prices through the roof.

(屋根を突き抜ける → 暴騰する)

3.1.11 「宗教、神話、歴史等」が起点領域の比喩表現

--- 聖書引用や米国建国史等 10例。

(1) 目標領域は「過去の華やかな政権」

○ End of an era: one of the last links to Camelot has died. (アーサー王伝説の都 → 華やかかりしケネディ政権) (同大統領最後の腹心の1人の死を報じた記事)

(2) 目標領域は「仕事」

○ Every single crab is a labor of love. (聖書引用句で「愛のための労苦」 → 報酬度外視でも好んで行う仕事)

(3) 目標領域は「国家」

○ One place they are looking for inspiration, the U.S. Constitution. A Founding Father moment of Egypt. (米国建国時 → エジプト新政府樹立時)

3.1.12 メトニミー

--- 色、所在地、建物の形状などで組織、国家等を表すものなど 40例。

○ The makeup of the House before last night and now a tide of red.

(共和党のイメージカラー「赤」で同党が中間選挙で圧勝したことを示す)

○ Wall Street---NY 証券市場、Washington--- 米国政府 (所在地で市場、組織等を示す)

○ the Oval Office--- 米大統領執務室、the Pentagon--- 米国防総省 (形状で組織等を示す)

○ Lone Star State--- テキサス州のニックネーム (州旗の模様で州を示す)

3.1.13 シミリ

--- 全 11例。

○ It's like defaulting on your home mortgage. (政府債務を「住宅ローン」に例えている)

○ \$4.29 a gallon just seems like an absolute rip-off. (ガソリン価格の異常な高騰を かつぱらい、盗みといった犯罪に例えている)

3.1.14 アナロジー

--- 全体で 7例。下記は主要例。

○ In what resembled a call to the principal's office, BP's top executives were summoned to the White House this morning. (原油流出事故後、ホワイトハウスに召喚)

された BP 幹部を校長室に呼び出された生徒になぞらえたアナロジー)

- No one would loan you any more money without much higher interest payment.
(国家の財政の破たんを家計の破たんになぞらえたアナロジー)

3.2 ニュース記事における比喩表現のコミュニケーション効果についての分析結果

2.2.2 で想定した比喩表現のコミュニケーション効果に関して今回の約 200 本のニュース記事を検証した結果、約 30 本の記事において複数の比喩表現が複合的に連携し合いそうしたコミュニケーション効果を高めている様子が顕著に見てとれた。本論では、紙幅の都合上、うち 6 本のニュース事例についてのみ詳細を示す。

(ニュース事例 1) 「健康的な食生活を目指して」(June 3, 2011)

(アンカー) After years of revisions and makeovers, it's official. The food pyramid is ancient history. So this circular plate will be the new standard in serving up square meals, a dinner plate divided into four wedges for each of the basic food groups: fruits, vegetables, grains and protein. Simple enough for children to understand, even at the elementary school level.

(男児生徒発言引用) “Sometimes, I just eat like, a lot of just one thing instead of having a variety of everything.”

Chef Bill says, “You can eat healthy at home.” “And with this new visual aid, you can do it tonight.”

(アンカー) Everything in moderation, they say. So if you could eat like this a lot more than you do the other way, then you're having a good start.

児童の栄養要素別必須摂取量を示した新旧の図 [旧 “pyramid”(ピラミッド型の図)、新 “circular”(円皿型の図)] が登場。それらにつなげて同じく「形」を起点領域とする “square”(正方形) や “wedge”(楔形) を続けて登場させることで、テキスト内に結束性と同時に言葉の綾によるユーモアも実現している。ここでの “square” は “きちんとした” という比喩的な意味で用いられているが、波線部分の “healthy” とほぼ同義で、同一表現の繰り返しも回避できている。1 行目の “pyramid” と 2 行目の “ancient” も言葉の綾を狙っている。

(ニュース事例 2) 「GMの再生」(May 12, 2011)

(アンカー) It is a banner day for the resurgent US auto industry. Less than two years after coming out of bankruptcy General Motors announced today it is adding 4,000 American jobs. According to experts, GM's move today could create a ripple effect of 28,000 additional jobs.

(専門家の発言引用) “This is a good example of a large company hiring thousands of people that results in smaller companies being able to offer jobs to hundreds of people.”

GM got close to a \$50 billion lifeline from taxpayers that kept them alive since 2008. So far the company has paid back almost half that. And today's announcement put GM in a much better position to pay back every cent of your money.

人間の生死を起点領域とし GM という企業や自動車産業を目標領域とした複数の比喩表現 (「米自動車産業復活」を “resurgent”/「投じられた公的資金」を “lifeline”/「企業活動の存続」

を“kept them alive”と表現)を専門家の発言の前後に用いることで、ニュース全体の結束性を実現。また、専門家のコメントに先立ち、その内容を“ripple effect”といった自然現象を起点とするメタファー表現で大まかに示し、分かりやすくしている。冒頭の比喻表現“banner day”(祝日)と最後のメトニミー“every cent”はいずれも日常的物事・事象を起点領域としており、経済ニュースを馴染みやすくする効果が期待できる。

(ニュース事例3)「米大統領が商工会議所訪問」(February 8, 2011)

(アンカー)President Obama telling big business to get off the piles of cash and start hiring. For the first time since taking office, he spoke to the US Chamber of Commerce, the powerhouse of American business and his political adversary.

(オバマ大統領引用部分)“Maybe if we, if we had brought over a fruitcake when I first moved in, we would have gotten off a better start.”

The President may have come in the spirit of being more neighborly, but he was hardly looking to just borrow a cup of sugar.

(同大統領引用部分)“American companies have nearly \$2 trillion sitting on their balance sheets.” “Spend that money”, the President said.

(同大統領引用部分)“So if I’ve got one message, my message is now is the time to invest.”

(レポーター)The President today signaled a new willingness to reconsider regulations that inhibit economic growth.

米商工会議所とホワイトハウスが近接していることから近所付き合いのアナロジーを用いて米産業界とオバマ大統領の関係を示している。米国では newcomer に近所の主婦が手作りケーキなどをあいさつがわりに持って行く習慣がある。レポーターは同大統領のこのアナロジー部分につなげて“borrow a cup of sugar”という「砂糖(ケーキの材料)→金」という比喻表現を使いニュース全体を結束させている。“powerhouse”(発電所→米国産業界を動かす力をもった組織→商工会議所)等の慣用的な metaphor 表現も見られる。また、オバマ大統領はアナロジー部分以外でも巧みに比喻表現を用いており、米国企業の2兆ドルもの「内部留保」を“nearly \$2 trillion sitting on their balance sheets.”と表現しているのもその1例。アンカーは冒頭でそれを“piles of cash”という表現で言い換えている。

(ニュース事例4)「米北東部の大雪」(January 29, 2011)

(アンカー) Tonight on World News, it is snowmageddon again. A kind of David-and-Goliath matchup, man versus snow.

(レポーターの現地からの生中継) Well, Diane, it is an unfair fight when you gaze at the sheer volume of all this snow. This isn't a hill behind me, it's an actual mountain of plowed snow. And to give you an idea of scale, that's our producer back there. This towers over him five stories tall.

(同一レポーターの録画映像レポート) And in some places, it is just too much. 16-year-old Brendan Walsh shot this video to show the Herculean task of removing nearly three feet of snow from his family's Connecticut rooftop this morning. In New York City, they've had enough snow to fill the Empire State Building more than a thousand times. Boston has gotten 21 million tons of snow this winter; Philadelphia 37 million tons.

アンカーは人間と大雪の戦いを旧約聖書中のダビデとゴリアテの戦いになぞらえるとともに、やはり聖書に登場する“Armageddon”(ハルマゲドン)をもじった“snowmageddon”という造語表現で聴視者の百科事典的知識を想起させながら大雪のすさまじさを印象づけた上で現地レポートにつなげている。これらの比喩的表現はレポーターの録画レポート中にあるギリシャ神話の「ヘラクレス」になぞらえた比喩表現ともうまくつながっている。録画レポートでは降雪規模を建物の階数や Empire State Building になぞらえ具体化。

(ニュース実例 5)「中間選挙の見通し」(October 1, 2010)

(アンカー) President Clinton is campaigning today to protect an endangered species: incumbent Democrats.

(クリントン元大統領発言引用部分) “Nobody, but nobody in the House has done more to help build back the American dream than Barney Frank. You ought to be there for him on election day.”

(レポーター) Clinton is campaigning deep on home turf in the once solid blue states of Connecticut and Massachusetts.

(評論家発言引用部分) “It means there is no such thing as a safe state for Democrats this year. There is no such thing as a dark blue state. There is no such thing as a safe slam dunk election.”

(レポーター) President Obama isn't on the sidelines. He'll be campaigning this week in four states. And another even more popular White House resident is also hitting the campaign trail. In the coming weeks, First Lady Michelle Obama plans to hit five states.

冒頭でアンカーは米中間選挙での民主党議員の苦戦ぶりを“endangered species”という生物を起点領域とする比喩表現で簡潔に分かりやすく表現。また、評論家はバスケットボールの“slam dunk”を「楽勝」の意味で比喩的に用いているが、レポーターもこれにつなげてバスケット・コートを連想させる“on the sidelines”という比喩表現を使用。評論家は民主党を党のカラーである“blue”で示すメトニミーを用いているが、レポーターも同様に民主党が強い州を“dark blue state”と表現し、画面に全米の色分け地図(共和党優勢州は同党カラーの赤)を示しニュース全体に結束性をもたらしている。

(ニュース実例 6)「ホームセンターでの結婚式」(June 15, 2010)

(アンカー) It was the ultimate do-it-yourself ceremony. Among a sea of nearly 200 orange smocks and loyal customers, Carolyn Weatherly and her groom Audwin Mosby walked down the aisle past light bulbs, grills and paint in aisle No.1.

(花嫁発言引用) “This is the man for me. We're going to get married at the Home Depot.”

(レポーター) Carolyn and Audwin, both Home Depot employees, said “I do” in the garden section, the stage created out of lumber and their guests seated next to bags of garden soil and fertilizer. Today, we met up with the couple as they were congratulated by fellow employees.

(同僚発言引用) “Hey, the newlyweds! How are you doing?”

(アンカー) Next on line: A honeymoon donated by generous customers.

DIY 用品店での従業員結婚式を伝える明るいニュースであり、“walk down the aisle”（結婚する）という比喩的慣用句を店舗の実際の通路“aisle No.1”にひっかけて言葉の綾によるユーモアを実現。こうした店舗での店員の決まり文句“Next on line”（次のお客様どうぞ）もこの新婚カップルに次に起こること（新婚旅行）を比喩的に表現し、楽しい雰囲気を高めている。なお、“orange smocks”はオレンジ色がこの店舗 Home Depot の corporate color であることから同社の従業員を意味するメトニミー。

4. 終わりに

4.1 今後の研究課題

AP Broadcast News Handbook (ibid., p.111) には“The mental pictures we all have in common are an important tool for every news writer.”と記されており、ABC News においても最も身近で認識を共有しやすい身体や日常生活を基盤とした概念メタファーから生み出された比喩表現が最多数を占めた。しかしながら、“in common”といっても比喩表現の中には普遍的なものや特定の文化に固有のものがある。今回は特に米国の国内ニュース中心に検証したため、米国の文化や歴史、宗教、生活等に固有で、それらに馴染みの薄い日本の聴視者にとっては理解しにくい比喩表現も見られた。文化的に多様な聴視者を対象とする BBC World, NHK World 等の国際放送に見られる比喩表現と今回の検証結果との比較を今後の研究課題としたい。今回の放送ニュースでは政治家、専門家など様々な登場人物の発言中の比喩表現と同一あるいは類似の起点領域の比喩表現をアンカーやレポーターが巧みに自らの発話に組み込み全体の結束性を実現している例が多数見られたが、こうした結束性に関して新聞等、放送以外の媒体のニュースとの比較も今後の研究課題としたい。

4.2 英語ニュース比喩表現研究の EFL 教育への適用可能性

Kövecses(ibid., p.239) は、“Since the late 1990s, a large body of work has been produced that explores the usefulness of conceptual metaphor theory in foreign language teaching.(中略) The majority of these studies have investigated the impact of metaphor awareness on the pace and depth of learners' vocabulary acquisition.”と述べ、そうした研究結果を踏まえて、慣用的な比喩表現の起点領域を問う付記のようなタスクで比喩表現英語学習者の理解を深化させ長期的記憶保持を促す語彙力育成を実現するよう勧めている。Azuma(2005, p.60) は“Although EFL learners encounter English metaphorical expressions in reading and listening, they usually encounter them as one-off experiences.”と述べているが、比喩表現に関する学習を断片的ではない系統立ったものにするためにもこうしたタスクは役立つものと考えられる。

また、習慣や歴史、文化等に深く根差した特定文化固有の比喩表現についての学習は、異文化理解の糸口ともなる。さらに今回の英語ニュースに見られたような比喩表現がもたらす“intratextual coherence”をはじめとする様々なコミュニケーション効果を学ぶことはエッセイ・ライティングやプレゼンテーションの学習にも必ずや有益なはずである。

付記 概念メタファーに基づく語彙力育成タスク例 (経済専攻大学生向け)

Task: Categorize the expressions according to their source of inspiration

MACHINERY, HEALTH, WAR, SAILING, or GARDENING. (Kövecses, *ibid.*, p.241)

- | | |
|--|-----------|
| 1. The state is suffering from a chronic budget deficit. | Source___ |
| 2. Japanese companies are invading weaker markets. | Source___ |
| 3. The economy is overheating. | Source___ |
| 4. Our industry is in the doldrums again. | Source___ |
| 5. It's a flourishing company. | Source___ |
| 6. There are the symptoms of an arthritic labor market. | Source___ |
| 7. Economists should prescribe the right remedy. | Source___ |
| 8. It will be difficult to keep our company afloat. | Source___ |
| 9. The government's policy has been blown off course. | Source___ |
| 10. Our firm will have to slim down. | Source___ |
| 11. The monetary lever has rusted. | Source___ |
| 12. The Japanese economy is going to slowly recovering. | Source___ |
| 13. What bank is going to bail out this drifting business? | Source___ |
| 14. We need to conquer more market share. | Source___ |
| 15. This firm will have to prune some of its branches. | Source___ |

参考文献

- Azuma, Masumi (2005) *Metaphorical Competence in an EFL Context*, Toshindo
- Iltle, Bruce D., Anderson Douglas A. (2002) *News Writing and Reporting for Today's Media*, McGrawHill
- Kakbfekd, Brad (2001) *Associated Press Broadcast News Handbook*, McGrawHill
- Kövecses, Zoltan (2010) *Metaphors*, Oxford University Press
- Lakoff, George, Johnson, Mark (1980) *Metaphor We Live By*, The University of Chicago Press
- 鍋島孝弘治朗 (2011) 『日本語のメタファー』、くろしお出版
- 野澤元・渋谷良方「コミュニケーションから見たメタファー」(2007) 『メタファー研究の最前線』、ひつじ書房
- 瀬戸賢一 (1995) 『メタファー思考：意味と認識のしくみ』、講談社
- 須賀吉太郎 (1982) 『時事英語を読むための英語比喩表現辞典』、荒竹出版
- ABC News 出典 NHK 海外ニュースポータル (<http://www.nhk.or.jp/worldnews/>)